

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域密着型サービスの意義や役割について話し合い、あらゆる機会を捉え、地域との交流を促進するような機会が少ない。	地域との付き合いを持つ(地域行事への参加)	<ul style="list-style-type: none"> 外出する機会を多く持つ 無理ない範囲で自治会行事などへの参加 ご家族踏まえ施設訪問の機会を増やす 	12か月
2	4	2回月に1回の運営推進会議へ参加できる地域代表者が少ない。会議の意見が施設サービスの向上に生かされにくい。	運営推進鍵への地域からの参加者を増やす	<ul style="list-style-type: none"> 施設へ関わりやすい内容の行事を会議で取り上げ、地域からも気軽に参加できる形をとる。 民生委員の参加をお願いする。 	6か月
3	6	玄関自動ドアが自由にあげられない状況のため、利用者の自由な暮らしを支える支援の配慮が少ない。	身体拘束等をしない生活の提供	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束についての勉強会を実施する。 職員の意識改革 日常生活上のケアの問題点を話し合う 「外出したい」利用者の希望には対応できる時間帯を説明し、できるだけ希望に沿うことを継続する。 	12か月
4	26	施設職員全体でケアプランの認識が不足している。	ケアプランを意識したケアの実施	<ul style="list-style-type: none"> 各記録方法の見直し、書き方の勉強。 ケア会議においてケアプランやモニタリングの方法を勉強する。 プランに沿ったケアを行いそれを記録に残す。 	12か月
5	35	災害時における地域住民との協力体制が少ない。	災害時における地域住民との協力体制を作る	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練などの見学をしてもらう。 近隣の方の協力を得て、避難訓練を行う。 備蓄食料を実際に調理する。(近隣の方含めて地調理をして一緒に食べる) 	12か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。